

CEH 難易度は中級

合格戦略と案件価値

100 ～ 300 時間の合格ロードマップと市場価値

125 問 ・ 4 時間 ・ 60 ～ 85% 合格ラインの全体像を解説



独学でも受かるのでしょか？

中級だ。整理すれば怖くない。



【解説に入る前に】サービスのご紹介



セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- ✓ 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- ✓ リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- ✓ セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

[詳細を見る →](#)



セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- ✓ 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- ✓ 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- ✓ 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

[詳細を見る →](#)



どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。

● CEH の合格率と合格ラインの実態



試験形式

125 問・4 時間・選択式（四択）



合格ライン

60 ～ 85% （フォームにより可変）



攻略の核心

どのフォームでも 6 割超を安定して取れる実力を目標にする

● CEH 合格に必要な学習時間の目安



未経験者の目安

200 ～ 300 時間 ・ 約 4 ～ 5 か月



IT 経験者の目安

100 ～ 200 時間 ・ 約 2 ～ 4 か月



計画の核心

受験日から逆算し、週ごとの学習量を先に決める

● CEH が難しいと言われる 4 つの理由

1

20 モジュール

偵察から IoT ・クラウドまで出題範囲が広く、得意分野だけで押し切れない

2

攻撃原理の理解

用語暗記では得点が伸びず、手順とツールをセットで理解する必要がある

3

英語情報対応

最新ツールや攻撃手法の一次情報は英語が先行するためキャッチアップが必要

4

v13 最新領域

AI 生成マルウェアや量子暗号など新領域が加わり、古い教材では対応できない

地図を先に持て。闇雲に走るな。



● 20 モジュールをカバーする広い出題範囲



攻撃系モジュール

偵察・スキャン・ハッキング・SQLi・暗号攻撃等



現代的モジュール

クラウド・IoT・モバイル・無線セキュリティ等



学習の核心

ブループリントで弱点モジュールを早期発見し重点配分する

● 攻撃原理とツール操作の理解が合否を分ける



問われる理解

攻撃の順序・ツールの用途・脆弱性への対策



演習環境の重要性

iLabs で攻撃を再現しツール挙動を目で確認する



合格の鉄則

攻撃を再現しツール挙動を確認すると本番の選択肢が絞れる



● CEH と他のセキュリティ資格との難易度比較

攻撃技術系

CEH ・ OSCP

- ・ 攻撃者視点の手法を体系的に学ぶ
- ・ 技術担当 ・ 診断者向け
- ・ CEH は選択式、OSCP は実技試験

VS

管理 ・ 基礎系

CISSP ・ S+ 等

- ・ 管理戦略 ・ 基礎知識を学ぶ
- ・ 管理者 ・ セキュリティ入門者向け
- ・ CISSP は 8 ドメイン ・ S+ は入口



選択の軸

攻撃技術か管理かで目的を定め最適な資格を選ぶ

● 受験前に確認すべき資格要件と費用

受験資格（2つのルート）



公式トレーニング

受講修了で受験資格コードを取得



実務経験ルート

2年以上の経験証明 + 審査料 100 ドル

費用の目安（GSX コース）



受講料

約 54.7 万円（税込）から



含まれるもの

試験費用 + iLabs 演習 6 か月



● 難易度を踏まえた CEH 合格の勉強法

1

全体像を把握

ブループリントで 20 モジュールの配点感をつかみ、学習設計の起点にする

2

手を動かす

iLabs で攻撃を再現し、ツールの出力を目で確認して原理を体で覚える

3

弱点を潰す

問題演習で分野ごとの正答率を記録し、苦手モジュールに集中投資する

手を動かすことだけは省くな。



● CEH 取得後に評価される 3 つの実務領域



脆弱性診断

Web アプリ・ネットワークの弱点を攻撃者視点で洗い出す



ペネトレーション

実際に攻撃を試みて組織の防御を検証する実践的な仕事



監査・SOC

攻撃を読む観点からセキュリティ監視・検知を担う領域

3 領域に共通するのは攻撃者の思考を持つ人材ほど成果を出しやすい点



● 資格を案件・単価につなげる方法



資格 × 実務の掛け算

経験との組み合わせで参画幅と単価が上がる



攻撃技術人材の需要

診断・ペネトレ案件は単価が高めに設定される傾向



市場価値の核心

資格は名刺、実務は実力。両輪がそろって単価が動く

● まとめ



CEH の難易度は中級。125 問・4 時間・合格ライン 60 ～ 85%。学習時間は 100 ～ 300 時間が目安



受験資格（公式トレーニング or 実務 2 年以上）と費用（約 54.7 万円～）の確認が先決



攻撃技術を実務に接続することで診断・ペネトレ案件への参画と単価向上につながる

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

[セキュリティプロ・テンショク >](#)

